
死神達の恋歌 ～月の導き～

yatenyue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神達の恋歌 ～月の導き～

【Nコード】

N1849Z

【作者名】

yatenyue

【あらすじ】

精霊術師のうち炎術師であった彼女・雛桜美月は、中学一年生13歳の春、5月に死んだ。

こちらは、ソールンサイティ尸魂界サイドです。

太陽の方が現世サイド。

で彼女の双子妹・雛桜卯月です。

力は最強、ですが精神的に弱め。

ととっても普通よりは強いです

過去の世界すべての前世の記憶を持ちます。

冬獅郎×ヒロインです。(私自身は、彼女がいなければ日夏派です)

月、太陽 共通プロローグ(前書き)

月、太陽両方共通です

月、太陽 共通プロローグ

私は

私の姉の美月は

あの日 死んだ

《零番隊隊長、兼元十番隊第三席副官補佐》

雛桜美月

M i t s u k i H i n a z a k u r a

最も辛^{サダメ}き運命を持つ者

「日番谷隊長には、桃ちゃんがいるし勘違い

すれ違い

「大好きっっ」

「消えて」

「・・・仕方ないよ。」

冬獅郎にとって、桃ちゃんは、姉か妹みたいなんだと思うから。」

垣間見たのは、柔らかな微笑

「絶対、ルキアは助けてあげるから。」

何度 別れてもなんで私は、恋をしてしまうんだろう？

大きな罪を私は、背負っているのに。

「・・・卯月が私に・・・？」
贖しよく罪ざい？

「よくも冬獅郎を藍染つ！！」

紅アカと赫アカと朱アカを纏い、

哀アイと愛アイとに満ちる

心優しき少女

「嘘・・・でしょ。卯月が消滅キエするなんて！！」

これが 罰 ？

哀しくも愛しい そして

残酷な 物語が 今紡がれる

それはまるで影のように

美月は満月キムツキのように。

《十番隊隊長》

日番谷冬獅郎

Toushiro Hitsugaya

氷と雪を操る炎の対。

美月の第一印象は、抜けたヤツ。

第2印象は、失礼なヤツ。

第3印象は、可愛いヤツだった。

気が着けば、美月を目で追っている自分がいた。

松本のヤツにからかわれても、否定できなかった。

「俺は、お前が好きだ。」

あいつは、いつも自分のことより、他人のことばかり考えていた。

良く言えば、優しい。

だが、

悪く言えば、自分を軽く見ていた。

儂い。

強いが、弱い。

だからこそ思ったんだ。

護ってやりたいと。

今まであいつに会うまで、護りたいヤツは雛森だけだった。

俺にとって姉であり、妹であったから。

でも今は、できるならば美月の笑顔と心

そして欲張りかもしれないが、

雛森のことも護ってやりたい。

そう思うんだ。

「雛森に血イ流させたら、
俺がお前を殺す。」

血を流す雛森

涙を流す美月

血を流し倒れる俺にすがりつく美月

もっと、強くなりたい

消え行く意識の中

感じたのは、暖かな炎。

《水術師》

雛桜卯月

U d u k i = H i n a z a k u r a

血の呪いを受け継ぐ者

「私のせいだ。」
モリコロ
白黒の世界。

姉の残した詩。

いつだって、私の心を救うのは、

あの子 なんだ。

たくさん友達。

美月が死んで3年経っても、なお気にし続けた。

そして、

知らなかった周りの人々の思い。

嬉しかった。

でも、やっぱり逢いたいから。

ルキアもだけど、私の1番はやっぱり美月 なんだ。

そんな私が1番キライ。

皆傷だらけ。なのに私は無傷

美月は重傷。なのに私は護られ無傷。

「私が・・・消滅^{キエ}する？」 聞いた時

生きたいという思いと、

やっと死ねるといふ思い。 2つ の矛盾した思いが胸に満ちた。

絶望への序章が
始まる。

黒崎 一護

Ichigo=Kurosaki

朽木 ルキア

Rukia=Kuchiki

井上 織姫

Orihime=Inoue

茶渡 泰虎

Yasutora=Sado

有沢竜貴

T a t s u k i 〓 A r i s a w a

小島 水色

M i z u i r o 〓 K o j i m a

浅野 啓吾

K e i g o 〓 A s a n o

卯月の

理解者達

そして・・・

クインシー
《滅却師》

石田 雨竜

U r y u u 〓 I s h i d a

救済者

「自分だけが不幸・・・？笑わせんな」

そう君は一蹴したね。

今までの僕の価値観を

だから、僕も言わせてもらう。

「罪？そんなの関係ないだろう。」

君は逃げているだけだ。」 君を傷つけるかもしれない でも、

何も関係がなかったからこそ救える

《零番隊二席兼元四番隊三席》

大道寺 皐月

S a t s u k i 〓 D a i d o u j i

共有者 優しき毒舌者

悟る者

あの子達は、本当に溜め込むのが好きですわね。

率直な優しさは、人を救うこともあります、

逆にそれが苦しくなることだってあるんです。

本当に見て居られない、太陽と月

「馬鹿ですわね。そんなことで迷うなんて」

「あなたは、思う通りにやればいいんです。」

「少しは頼りなさい。馬鹿娘ども。」

言葉・・・
いつも、キツイ言葉である・・・不器用な

でもそれは常に真を指している。

全てを認めている者。

《零番隊四席兼元二番隊三席》

神無月 由宇

Yuu Kanaduki

共有者

愛を拒絶する者

愛は、破滅への序曲。

アタシは、そう思わなきゃやっていけなかった。

・・・自分の想いも分からず、愛を知らず、走り続ける者・・・

でもあの子達には、幸せになって欲しいから。

「アタシは、そういうの分かんないけど、あんたは違うでしょ。」

「まあ、いいけど」

「イツル、どうしたの？」

アタシは、自分の気持ち

安堵の理由が

ワカラナイ

零番隊副隊長兼元二番隊副隊長

如月 海依

K i s a r a g i i K a i

共有者

信じようとする者

何度裏切られても、

人とは汚いものだも知っていても、

信じられようとし、

「どんなことがあつたつて俺は俺だから。碎蜂、お前だけは俺を信じて下さい。」 大切な人

「信じるに決まっているだろうが」

また、信じようとする。

・・・男とも女ともとれない、不思議な者・・・

俺はさ、人間って弱くて醜いものだって知っている。でも、それを知った上で、

俺は信じたいんだ。

それに、俺は、この手にあるもの全てを護りたい。

俺が私（＝女、弱さ）を棄てた代わりに。

美月達？

あいつらもだよ。

あいつらは、あの時から罪だ っ て気にしている。

そんなの気にしないでいいのにな。

俺や臯月達が言っても聞きゃしない。

あいつらは、力は強い。

最強って言ってもいいくらいにな。（俺もだけど 自慢）

でも、心の一部分が酷く弱い。

失うことを恐れている。

だから俺はあいつらを支える。

ただそれだけだ。

そして

「私は、彼のために強くなるの。」

《零番隊七席兼元十二番隊三席》

神代 魅

M i r u = K a n e s i r o

改造された身体の持ち主

「たとえ私を思ってくれなくても
彼が幸せならそれでいいの」

「俺は、あいつのために強くなっただんだ。」

《零番隊六席兼元十一番隊四席》

須王 修宇

S y u u u = S u o u

強さを求める者

「俺が本当に思っているのは
誰なんだ？」

すれ違う2人

「僕は、あなたに会いたくて、死神になっただんです。」

《零番隊八席》

那智 葵

A o i = N a c h i

美月を尊敬する者

そして、血縁者

「僕に何ができるか

わかりませんが
僕は僕にできることをやるだけです」

「何もしないって、性に合わないし」

《六番隊三席》

佐野 明良

A k i r a = S a n o

美月と同じ血を持つ者

そして 崇拜者

「あなたはあなたにできることを
すればいいの。俺はあなたを否定しませんよ」

《零番隊五席兼元六番隊副隊長》

青木 輝

H i k a r u = A o k i

愛に裏切られ、心を美月に救われた者
そして

裏切り者

残されたのは 1枚の手紙

「だいつきらいな人間を

もう一度信じたいと

おもったのは
美月隊長のおかげです」

さあ紡がれ始めるは、愛しくも、残酷な物語。

プロローグ 始まりの時(前書き)

目の前には大虚^{メソス}

こんなことになるなんて

思いもしなかった

プロローグ 始まりの時

私はいつものように、

一護に虚が近付かないように、

一護から離れてからいつもは零の状態にしてある霊圧を

少し放出した。

いつもと違う所といったらいつも一緒の双子の妹、卯月がいない。

ただそれだけ。

いつものように雑魚だけかと思っていた。

なのに、突然の後ろからの攻撃…

私の腹を貫いていたのは

大虚の舌。

一体だけ混ざっていた、新種の霊圧を消すタイプの大虚だった。

私の魂は、あつという間に肉体から引き離されてしまった。
カラダ

(ちっ。今日に限ってっ。

卯月がいれば、苦勞せず気を引いてもらって

その隙に肉体に戻るのに…

卯月は狙われたりしてないよね。

因果の鎖はまだ切れてないし、

早く肉体へ…)

魂から10?離れた肉体へとまず行こうと

考えている間に、

視線が大虚にいつていたせいで

他の残っていた雑魚が

私の鎖を

踏みちぎれた。

（もうダメかな。

卯月には一護がイル。）

そう考え、霊体状態の私は朱い瞳を閉じようとした

その時、

強い冷気のような霊圧を肌で感じ、

閉じかけた眼を開けると

瞳に入ったのは

銀の髪をもつ死神。

その死神は一刀で大虚を倒し、周りの雑魚達を片付けていく。

全て片付け終えた彼が、私に近づき、言う。

「大丈夫か？」

「まったく、こんな所で霊圧を流すなんて何考えてるんだ、お前は　って人の話聞いてんのか！！」

「おいっ」

ほうけていた私は、正気を取り戻す。

不覚にも私はその死神に見とれていた。

私は赤くなつた顔を隠して答えた。

「はっはい」

はっきりいってマヌケ極まりない。

その死神ははあ…とため息をつくど、急に真剣な顔になって言う。

エメラルドのような翡翠色の瞳が私を一瞬硬直させる。

「お前、俺が見えるのに俺の服装見て、何も思わないんだな。」

俺以外にこんな服のヤツ見たことあるのか？」

私はこの言葉を聞いて

私の男に対する態度にしてはなんの警戒も持たず、
ありのままの事実を言った。

「へ、だって死神でしょ。」

ある程度霊圧あれば見えるの当たり前でしょ。」

彼は、呆れたような顔になって、
こう言った。

「死神が見える人間なんか聞いたことねえーよ
勝手に決め付けんな！」

私はその言葉を聞いてそういえばそうだった
と思った。

でも

「あ、周り一族とか見えるから忘れてた」

「そーかよ。(でも何故こんなに霊圧が低いんだ)

お前名前は？」

霊圧を少ししか出していない状態のままでは彼の質問に答えた。

「私は 雛桜美月 です。あなたは？」

「雛桜か
俺の名前は日番谷冬獅郎だ」

それは
私という一人の人間の死という終わりと

新たな世界や思いの始まりだった。

しとしとと降るのは雨

それは遺された体を濡らし、

血を洗い流していった。

用語説明 精霊術師とはなど(前書き)

太陽と共通です

用語説明 精霊術師とはなど

精霊術師とは

精霊術師

精霊の力を借り、魔を滅ぼす者ら。

そもそも

約千年前5人の若者が、五行を司る神と誓約（自らの誓い）と契約（血を次ぐ者に力を）を結び、代々続いてきた。

その直系は

炎の精霊を操る炎術師の家系 / 雛桜家

地の精霊を操る地術師の家系 / 大道寺家

風の精霊を操る風術師の家系 / 如月家

雷の精霊を操る雷術師の家系 / 神無月家

水の精霊を操る水術師の家系 / 神名家

だったが、

80年ほど前に現世では

神名家は滅びた

また分家は無数にあるため直系の1人が、宗主として術師の上に立つ。

またそれぞれの属性の精霊の加護を受けているため

それぞれの属性のものでは影響を受けず、同じ術師でかつ実力が上の同属性は効く。

また 人それぞれ 周期も 月齢も 違うが力や霊力が不安定になる日が

炎術師だと、満月周辺

水術師だと、新月周辺

地術師だと、満月寄りの半月

風術師だと、三日月

雷術師だと、半月

力が 弱すぎる人と強すぎる人が頻度が多い

まあ 多くても1年に1、2度

超越者とは・・・

あらゆる次元において神に認められ力を借り受けることを認められたをさす。

その数は今この世界に片手しか存在していない

美月の生家、雛桜家ははるか1000年ほど昔、神獣・朱雀と契約した超越者の血を継ぐ家系である。

いやそれだけではない、ほかの4家、

水の神名家は、神獣・玄武との

地の大道寺家は、神獣・白虎との

雷の神無月家は、神獣・青龍との

風の如月家は、神獣・黄龍との

超越者の血を引く。

それを一族は始祖と呼んでいる（名前は伝わっていないが、5人

は知っている)

精霊術師の家系の戸籍について

はっきりいって作られています、関係者以外閲覧不可だし
たとえ天皇でも見ることは叶いません。

だから

死後であろうと気づかれずに仕事ができるのです

雛桜家

炎術師直系

一番直系に近い分家としては佐野家があげられる。

炎だけは

明確に等級づけされていて普通の炎>黄金の炎(浄化の炎)>神炎

神炎とは、

自らの霊気を織り込んだ最高峰の炎で

いままでには美月を入れても10に満たない。

美月の神炎は

朱金色で

太陽のようなことから

紅炎またの名をプロミネンスと呼んでいる。

神名家

影の五代天皇家の一つ。

(他は炎術師の雛桜、雷術師の神無月、地術師の大道寺、風術師の如月)

水術師の本家。

80年程前現世では滅びた。尺魂界では元四大貴族で33年前滅びたとされる。

代々零番隊隊長を宗主が勤める。

美月達の母が元零番隊隊長神名葉月

高確率で双子が生まれ、二人は引き離されて育てられる。

というのも、神名家はある呪いを受け継ぎ、その呪いに対抗するために、術を用い、双子の片方が呪いを受け継ぐようにした。

二人の母である葉月は、二つにわかれた受精卵が結合し1人で生まれてきたので呪いを受け継いでいた。

呪いや神名家に伝わる刀については未来編最終ページにて

瞳の色について

炎術師の名家「雛桜」及び分家では、一番強いのが濃い朱。で暖色系が多く、橙や赤紫、ピンクなどで占められている。

雷術師の名家「神無月」及び分家では、一番強い力の持ち主は金、他は明るい茶色や、オレンジ等がもっぱら

水術師の名家「神名」及び分家では、藍色もしくは紺色で、藍色のほうが強力。濃い青系です。

風術師の名家「如月」他分家では、水色が一番力が強いほうで、より透き通ったほうが力が強い。ほかは薄い灰色や茶色

地術師の名家「大道寺」および分家は、濃い茶色やオレンジ、少ないが緑である。

緑が一番強いといわれている

葬儀の違い

精霊術師の家系は葬儀屋とかは呼ばないし、お墓も作りません。

一族ごとに決まっけていて

自らの仕える神の御元へと還るため

風術師は本家地下にある風の力が溢れる微生物の一匹もない部屋に死体が朽ちるまで（風化）

地術師は本家地下に半分弱埋められて、地に還るまで水術師と同じ一族のものに作られた氷の中へ葬られ

雷術師は一族が絶えず、力を注いだ雷の間で

炎術師は本家地下の炎の間で

どの葬方も肉体に宿る血の力がなくなるまで死したときそのまま腐敗もしない

（どこも微生物がないし存在できない）のため1ヶ月でなくなる人もいるし

逆に十数年かかる人もいるちなみに明良を含めた美月達は未だ変化一つない

多分明良は分家ながら強かったのあと十年は美月達は歴代最高だし、前世に始祖がいるので

数百年単位必要かもというかいる。ちなみに始祖はまだ残ってる。

だって仮に火葬するとして炎術師なら死んですぐは燃えないし、水術師なら燻るし、地術師は足が地についていたらすぐ燃えても治るし、風術師はなんかありえないことに空気の膜で覆われるし

困らないの雷術師のみ

ちよーつと不自然に静電気発生するけど（全然大丈夫じゃないってー）

単語説明 出てくるたび更新予定

怨霊

ギリギリ虚ではない

かなりのレベルになると自分自身が虚になるのを

無意識に避けている

また魂葬も簡単でなく、下手な虚より達がわるい

が 虚のようにリーダーに反応がないため

100% 生者の術師等に倒される。

登場人物 その1 月ヒロイン 雛桜 美月(前書き)

イラストはサイト内にあります ここにはありません

登場人物 その1 月ヒロイン 雛桜 美月

原作の年（一護が高一）は2007年とする

雛桜美月

1991.4.3生まれ

享年13歳

炎術師の家系の直系

雛桜家の長女であり、卯月の双子の姉。

13歳の5月末、虚との戦闘で死亡

その時 十番隊隊長日番谷冬獅郎に助けられる

その後すぐ斬魄刀を生み出し、死神として働くことになる。

その時は十番隊三席。

その後同年12月、卍解が使えることがばれ

零番隊（正式名御廷十三^{レイ}隊直属特別部隊零番隊）隊長となる

霊気の色：朱金

生前の髪の色：黒

今の髪の色：朱

瞳の色：朱

身長：145?

体重：30?

血液型：A型

相手：日番谷冬獅郎

詳しいことは第四章で話すが前世の記憶があり

その記憶のためか、過度に周りが傷付くの良しとしない

鋼や狩人（同姓同名）、復活（水無月楓）連載ででてくる主人公は、
パラレルワールドの彼女。

詳しい前世はかなしき物語で

またパラレルワールドの自分との記憶は共有している

前世の罪で

時間と空間の扉の守護者

になっている

斬魄刀

? 朱夏シユカ

始解：炎よ散れ朱夏

刀が炎を纏い、炎を操る

卍解：卍解カリンズザク火輪朱雀

七星の力を使う。

朱金の炎を放つ大きな朱雀が現れる

鬼宿タマホメ：レーザー状の炎（黄色）

柳宿ヌリコ：炎の球

星宿ホトトリ：炎の刀

翼宿タスキ：鞭状の炎

軫宿^{ミツカケ}：幻炎（紫）

井宿^{チチリ}：盾の炎（白）

張宿^{チリコ}：空間を断つ炎（青白）

元々は美月の守護精霊

具現化：緋色の中国風の服を着た美月によく似た10程朱髪朱瞳（美月より薄い）の少女で口調が古式。

中国で南を守護するという神・朱雀。

炎を司り、雛桜家に力を与えた張本人。

「我はお主の言葉に従う。ただそれだけだ」

つかは羽のような形。

卯月の斬魄刀藍珠の対

?癒宇^{イウ}

始解：癒せ、癒宇

青白い光で癒す。内部を治す時、刺した方が治る。

卍解：○？（里）以内の全ての人を治せ、卍解治癒空間

完全治すには長時間必要

薄い朱い霧にその空間が覆われる。

具現化：白に近い銀髪に碧瞳の女で背中に片翼

元戦いと癒しと愛を司る大天使。

「もし自分が死ねば皆が助かるなら貴女はどうしますか？」

つかがない懐サイズの刀

持つ所には「癒」の字

サブ主人公その2の皐月の斬魄刀宇紀癒の対

？ 刹那^{セツナ}

始解：血に飢える、刹那

刀身が血色に染まる

キーワード「切り刻め」ということで刺した対象を木っ端みじんに

卍解：血を浴び、悪夢を見せろ、卍解永遠ノ悪夢

昏い空間に傷付けた敵を閉じ込め、精神が壊れる

もしくは美月の許可を得るまで出られない

両刃の剣で、揺るぎない殺す覚悟を持たないと

美月自身が傷付く。

具現化：黒髪緋瞳の男で全身黒づくめ。

ひどく好戦的で戦闘狂に近い

左目に大きな傷跡がある

「人を殺す覚悟お前にあるか？」

黒の柄から白い布がでている。

朱夏以上斬月未満の長さ

卯月の斬魄刀琥珀の対で、神名家に伝わる宝剣の1つ

その他

誰にでも愛される子恋愛ごとには涙もろい。

しかし、意志が強く、喜怒哀楽の激しい子。

しかし自分の恋にはうとい。

いくらつらい目に遭おうとも人を愛せる。

が若干男が苦手。(えっ)

(これは本人達しか知らないことだが、異母兄・響「父の前妻の子」により、小学4年から6年の中頃まで性的虐待を受けていたしかも兄1人だけではない)

彼女本人もショックと兄の術で忘れていたが、心の奥底や体が覚えているし、日記で見知っている。

10までは前世の記憶はうっすらとだけだったが、皮肉にも上をきっかけに全てを思い出す。

IQ300以上の持ち主で
アメリカのハーバード大学の理数科と医学部の終了資格をわずか6歳の時半年で取っている。

イメージは赤薔薇か桜。

また12までピアニスト兼作詞作曲家”ナナ”として名を挙げる

左手にガーネットでできたブレスエットをしていて
これが霊圧制御装置
8割を封じ込める

だが残り2割の状態でも
隊長格の1・2倍の霊圧

つまり

全霊圧は隊長格6人分
しかし霊圧制御装置をつける原因は
体が耐えられないため。

また、完全に霊圧を解放すると
額に朱雀の刻印が浮かび上がる。

登場人物 その2 太陽ヒロイン 雛桜 卯月

原作の年（一護が高一）は2007年とする

雛桜卯月

1991.4.4生まれ

現在16（原作初期時） 18（死神代行消失編）

空座高校1年3組 3年（石田と同じクラス）

一護とはクラスメイトで小学校からの友人

様々な武道大会で優勝していて、

一護やチャドより

100倍強い。（死神前段階で）

雛桜家の次女で次期宗主。（20代め）

月ヒロイン美月の双子の妹

姉が死んだのは自分のせいだという自責の念を抱き、また魂の無事を信じたいと思っている

霊気の色：藍碧の霊気

髪の色：（通常）黒色

（霊体）藍色

瞳の色：藍色の瞳だがカラーコンタクトで茶色にしている

身長：160？

体重：40？

血液型：A型

相手：石田雨竜

美月、サブ主人公3人組とかかわりの深い切っても切れない前世の絆を持つがまだその記憶を取り戻していなくて

第二章中

少しずつ思い出していく。

パラレルワールドの記憶の共有は完全に思い出した後

霊界の扉の守護者

斬魄刀

?
アイジュ
藍珠

始解：水氷に舞え、藍珠

水のように様々な武器に変化する

卍解：卍解玄武水氷陣珠

水の玄武が出現して、水の球を操る

凍結（水色）

变幻自在（透明）

癒し（白）

幻（緑）

溶解（黄）

もちろん普通の水の球あり

卯月の現守護精霊

具現化

藍色の中国風の服を着た卯月に顔立ちのよく似た藍髪藍瞳少女

中国で北を守護する神・玄武。

神名家に力を授けた張本人やはり古式な口調

「お主は一体どうしたいのじゃ」

外見

つかが雨粒の形

長さは朱夏と同じくらい

美月の斬魄刀：朱夏と対である

?琥珀

始解卍解ともに不明　まだきめてない（決め次第更新）

具現化

ぴちぴちピッチのミケルそのまんま

蒼翠とも彼女に言われる。

碧銀の髪に紫の瞳

外見は刹那と正反対で白い刀身柄で柄からでる布は黒
長さは小太刀コダチ

美月の斬魄刀：刹那と対である

その他

裏表がある子。

（4人よりも）自分のことはどうでもよく、自分のせいで誰かが傷つくのを恐れる。

恋愛対象として男はあまり好きではなく、（女が好きと言うわけではなし）ナンパ男への対応が1番酷い。

完全に思い出すのは、2章中だったりする。

IQ200

ハーバード大学なかつたらごめんなさい体育科をトップで卒業かつ体育の国際教員免許を8

歳で半年取った。

美月とともにコンクールで何度も優勝。

”ナナ”の双子の妹”ナミ”ヴァイオリニストで歌も少々。

現在は歌手を波音^{ハツン}として。

イメージは水仙か蓮

蒼いサファイアでできたブレスレットと髪飾りをつけていて
それは霊圧制御装置。

これにより8割強の霊圧が封じ込められている

完全に封じた霊圧を解放すると

右手の甲に玄武の刻印が浮かび上がる

紹介はまだまだ続く… 長い

登場人物 その3 サブ主人公 3人衆（前書き）

姉御肌で、胸でかめな、派手系美人なサブ主人公1

毒舌敬語系、大和撫子系なサブ主人公2

兄貴系中性的美人なサブ主人公3
です。

登場人物 その3 サブ主人公 3人衆

サブ主人公その1

神無月由宇

享年15

1987・10・10生まれ

元三番隊三席
現零番隊四席

姐御肌な性格で
男女にもてる。

霊気の色：黄色がかった白金・金色

髪の色：（今）金色
（生前）金茶

瞳の色：金

身長：165?

体重：45kg

血液型：O型

相手：吉良イズル

主人公と同じ

死んだとき前世を全て思いだした

魔界の扉の守護者

斬魄刀

?雷霸

始解：雷をあげる、雷霸

外見変化せず、雷を操る

卍解：四方よりまじわれ、卍解青龍雷輪

青白い電気をまとい金の光を放つ青龍が現れる
始解のパワーアップ

元由宇の守護精霊

具現化

金髪金瞳の黄色を基本にしたミニスカ中華服を着た10程の由宇に似た少女

中国で東を守護する神・青龍

「いこうかの由宇」

迅雷の方が短い

迅雷とは対

?迅雷

始解：集え、迅雷

外見変化なし、雷覇より弱く、微妙な調節にたけている。

卍解：卍解紫電一閃

雷をまとう鳥雷鳥が現れ、その羽根は当たるだけで大ダメージ。

始解のパワーアップ

由宇の元守護精霊

元を正せば、異母兄・日向陽ひゅうが ひなたの守護精霊。

具現化

20くらいに見える蒼銀色の髪に金色の瞳の男性。

「ちゃっちゃと終わらせよう主」

雷覇とは対

雷覇の方が長い

その他

公私を分けている

零番隊の苦勞人。

イメージは黄薔薇か向日葵。

愛って何かわかっていながら心がそれを認めない

天才若手女優”唯”。

12〜25までの役を10の時から。

出演したものはどれも好評

話題の名作”朧月夜”での幽霊”アリサ”役や

”天使のつばさ”では第一シリーズでは妹の聖良、第二シリーズでは姉の怜良等5年前のデビュー当初から
天才子役の名も期待の若手の名も様々な声も総なめになっている。

政略結婚な両親で父親も母親も愛人作っているし、夜遊びはするは、
な最低ども

兄弟仲は最悪

全員片親違い。

名字は一緒だから、怪しまれないよう別々の学校に通ってたけどさ
名前なんて全然気にしなくてもいいよ

一番年上なのが12歳も年上の異母兄・充^{ミツル}

次に10年上の異母姉・艶香^{ヨツカ}

つづいて

5つ上の双子の異母兄、実と旬^{ミフル シュン}

でこの後に生まれたのが

由宇

由宇だけがこの夫婦本来の子

悲慘
由宇が生まれた後はもうこの夫婦離婚してないだけでももう悲慘

上の兄妹みんな母親違う

で下に

2歳下の異兄妹・愛

4歳下の異兄妹・恋

6歳下の異母妹・絵依

6歳下の異兄妹・憂^{ウイ}

8歳下の異母弟・昭夫^{アキオ}

9歳下の異父弟・治

10歳下の異母弟・昭継

12歳下の異父弟・健

母親が生んだのは全員認知せざる得なかったけど、

父親はそこらじゅうで種撒き散らしてたらしい(下品ですまん)

霊圧制御装置は、シルバーアクセの
ブレスエット
左手につけていて、完全霊圧解放すると、左腕に青龍が浮かび上がる。

サブ主人公その2

大道寺 皇月

享年16

1987・5・5生まれ

元四番隊三席

現零番隊三席

毒舌腹黒ですか

言うことは正しく、実は優しいお姉様

霊気の色：白がかった緑

髪の色：（今）碧

（生前）茶

瞳の色：緑

身長：160？

体重：43kg

血液型：B型

相手：檜佐木 修兵

主人公と同じ

しんだ時に思い出した

天界の扉の守護者

斬魄刀

？花音

始解：惑わせ、花音

卍解：咲き誇れ、幻音を聞かせよ、うつつね卍解白虎百花繚乱
土の力や植物の力を使う

花の香りを使い、さまざまな効果のある香りや、薬を作ること
も可能。

皐月の元守護精霊。

具現化

碧瞳碧髪の皐月にそっくりの外見だが毒舌は控えめな10程の少女。

中国で西を守護する神・白虎。

「何してるのさっさと行きますよ皐月」

柄に飾りひもがついていて始解の時緑にかわる。

海依の斬魂刀：地生の対

? 宇紀癒

始解：力を与えよ、宇紀癒

卍解：命の息吹を、卍解昇天癒紀

ともに癒宇と違い、体の傷を治すのではなく、霊力を回復させる。

(自分の霊力を相手のに変換)

卍解では、満遍なくだが、1人1人に対しては、始解のパワーより
ダウン気味

具現化

黒髪碧瞳の癒宇にそっくりな少年。

同じく片翼を持ち、元癒しを司り天界の番人補佐であった天使（
皐月の部下）

「また貴女と戦えるなんて光栄です皐月様」

西洋風の普通のサイズの刀

癒宇の対

その他

腹黒、毒舌、敬語キャラ。

だが優しく、少し弱い。大人。

人は汚いものだと悟っている。

間違いなく男を尻に引くタイプ。

美月達のお姉さんかお母さんみたいな。

冷静に見えるが、激情家

イメージ大樹か薔薇の棘

裁縫等がとても上手く、料理に至っては若干12歳でプロの料理人の資格を取り、

和洋中伊等を幅広く着手してきてまた日本一の高級旅館>梓弓<の女将：月夜として働いていた。

霊圧制御装置は首の十字のネックレス

完全霊圧解放すると、胸元に白虎が浮かび上がる。

サブ主人公その3

如月海依

享年15

1988・2・2生まれ

元二番隊副隊長

現零番隊副隊長

男前で中性的

髪が長いのに女物以外着ていると男に間違われる

もしくはどっちと言われる

靈気の色：碧や水色がかった銀

髪の色：（今）銀

（生前）黒

瞳の色：水色

身長：170？

体重：47kg

血液型：AB型

相手：碎蜂

主人公と同じ

しんだ時に思い出した

妖精界の扉の守護者

斬魄刀

？風華

始解：風よ我が声に応えよ、風華

うすく刀身に龍が浮き出る

卍解：黄龍迅風華遠

水色で銀の光を放つ黄龍が現れる

元海依の風の守護精霊。

具現化

海依にそっくりだがこっちの方が若干女らしい。

銀髪水色の瞳で中国服着用。

中国で中央を守護する神・黄龍。

「行こう主様」

風車のようなつかの形

？地生

始解：地の力を我に、地生

卍解：地竜五行地ノ章

土色の竜が現れる

元海依の地の守護精霊

具現化

茶髪茶瞳の筋骨隆々とした男

「さっさとしろ海依」

小太刀ほどの刀

花音の対

その他

恋愛に関して男大嫌い。

というより前世は男女すごい半々なせいで性への認識が薄い。

イメージは白か蒼か水色の薔薇。

またその容姿をいかしたモデルで主に男装モデルと変幻自在に声を操る凄腕のベテラン声優として、

モデルは12くらいから声優は8くらいから活動している。仕事名は戒^{カイ}。

5歳年下の異母弟・風がいる。

術師の本家大道寺家の娘と如月家の現党主の間に生まれた。

珍しい術者同士のハーフ。

後妻に嫌われてた。

左手人さし指につけている指輪が霊圧制御装置

完全霊圧解放すると、黄龍が左手の甲に浮き出る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1849z/>

死神達の恋歌 ～月の導き～

2011年12月8日01時14分発行